



銚子市【千葉県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成30年3月 ■ 人口：61,841人 ■ 面積：84km²
■ 担当課：銚子市教育委員会生涯学習スポーツ課（平成30年3月現在）



銚子市の歴史文化は、本市の個性や魅力「銚子らしさ」を伝える財産である。「銚子らしさ」を整理し、銚子市全体でその価値を再認識し、後世に伝え、守り、活かしていくための考え方をまとめたものが「銚子市歴史文化基本構想」である。銚子の歴史文化を振り返るためだけでなく、今を生きる私たち自身が将来の銚子へ何をどのように受け継いでいくかを考えていくための構想である。

5 歴史文化を表す つのキーワード

人・モノ・文化が集散する町、「地の者」と「旅の者」の連携、
「陸の道」と「海と川の道」、風土と地の利、岬

課題

- ・文化財に触れる機会の創出
- ・情報発信の充実
- ・多様な主体者との連携
- ・次世代への継承と後継者育成

保存活用方針

- ・文化財の総合的な把握と価値の共有
- ・文化財の適正な保護
- ・学校教育及び社会教育との連携
- ・観光振興につながる文化財の活用

保存活用のための取り組み

銚子資産を活かした ふるさと学習の充実

銚子資産は、文化財の種類や指定・未指定にとらわれず、本市の歴史文化を語る上で欠くことができない文化資産のことです。銚子資産を活かし、「ふるさと学習」のプログラムを充実し、「知る」「学ぶ」機会を提供している。



調査などへの市民参加を目指し、 文化財ボランティア組織を設立

地域住民に文化財調査などへの積極的な参加を促し、地域内の情報を共有できる仕組みとして、「文化財ボランティア（仮称）」を組織していく。



関連文化財群からなる 「ものがたり」を活かした取組

銚子の歴史文化を伝える「ものがたり」を発信し、地域住民への理解を深め、郷土への愛着を醸成します。また、「ものがたり」を構成する銚子資産をめぐる「まち歩き」コースを設定し、SNS等により情報発信を行い、地域の歴史文化を知る機会を創出している。

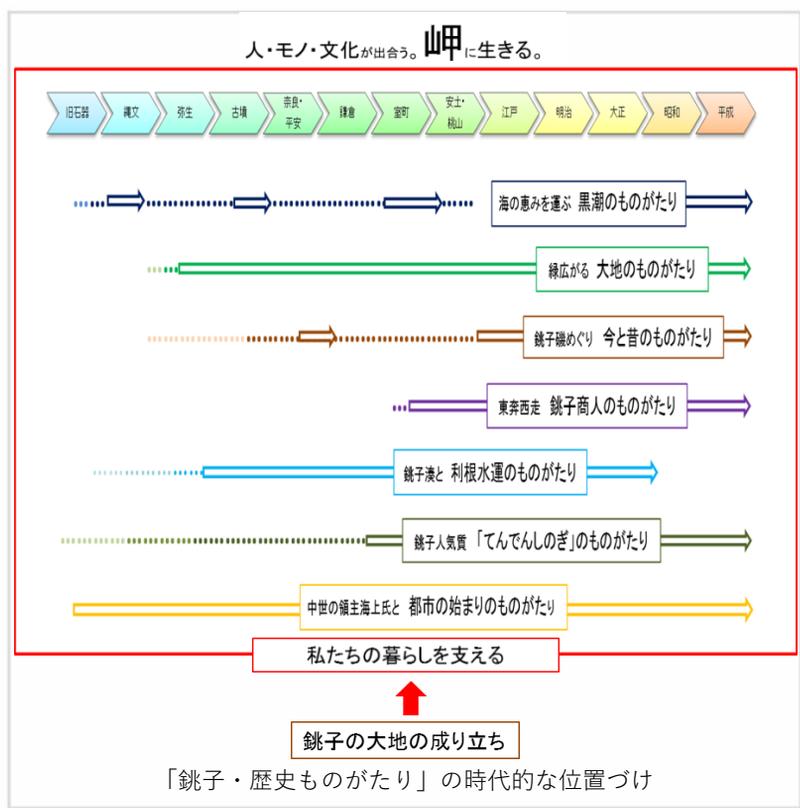


登録有形文化財を 観光拠点として活用

旧西廣家住宅（登録有形文化財）に「地の者（地域住民）」と「旅の者（来銚者）」が交流する場としての機能を付加し、観光拠点として整備していく。また、活用を通じて、文化財としての価値や魅力を発信し、本市の歴史文化を伝えていく。



関連文化財群



銚子の歴史文化を体現している多様な銚子資産を整理し、わかりやすく価値を伝え、守り、活かしていく意識を醸成するために「銚子・歴史ものがたり」を設定した。千葉県の東端に位置し、いつの時代も三方を水域に囲まれてきたことで、「人・モノ・文化」が集散する場となり、地の利や風土を活かした産業が興り、発展し、人々の暮らしを支えてきた。この歴史文化を7つの「ものがたり」にまとめた。

ストーリー

- ① 海の恵みを運ぶ黒潮のものがたり
- ② 緑ひろがる大地のものがたり
- ③ 銚子磯めぐり今と昔のものがたり
- ④ 東奔西走銚子商人のものがたり
- ⑤ 銚子湊と利根水運のものがたり
- ⑥ 銚子人気質「てんでんしのぎ」のものがたり
- ⑦ 中世の領主海上氏と都市の始まりのものがたり

策定後の成果（見込まれる効果）

① **地域の歴史文化を知る機会の創出**
文化財の保護意識を醸成するためには、地域の歴史文化を知ることが重要である。銚子資産や「銚子・歴史ものがたり」を活用し、わかりやすく地域の歴史と伝える機会を創出していくことで、私たちが暮らしの中で銚子資産を大切にすることが重要であることに気づいていくことができる。



② **多様な主体者との連携**
文化財所有者や文化財保護団体等の多様な主体者と連携を図るため「銚子資産活用協議会」を組織した。協議会では、文化財保護の目指す目的を共有し、連携を図ることによって、より効果的な取り組みを推進していけるような環境となることを目指している。



③ **歴史文化を活かした観光振興**
平成29～31年度の3か年で銚子市観光協会を中心にDMO構築事業に取り組んでいる。銚子資産は地域の個性を表す財産であり、観光資源としての活用も推進していく。歴史文化を活かした「まち歩きルート」の構築や登録文化財を活用した観光拠点づくりを充実させる中で、銚子資産に対する保護意識の醸成につなげることを目指している。

